

■南極レポート(第2回)『こどもの日』特別運用

日本のみなさん、こんにちは。

5月5日「こどもの日」特別運用が行われました。

これまでは当日のコンディションに左右され、せっかく楽しみにしている子供たちと交信が出来ないこともありました。そこで今回は8J1RL初試みとして、衛星経由のインターネットによるテレビ会議システムを活用し、昭和基地と巣鴨のJARL事務局とを結んで、アマチュア

無線と併用して行われました。基地の概要説明や子供達からの質問など、目の前のモニターを見ての対話が行われました。後半は実際に電波を出してのダブル交信となりましたが、やはり21MHzはコンディションがあまり良くなく反復確認となり、衛星経由に軍配が上がりました。



[写真1：8J1RL シャックにはミニ鯉のぼりと兜飾り]



[写真2：「こどもの日」シンボル南極で泳ぐ鯉のぼり]

声と共に映像も映し出されるため、前日より機械隊員の皆さんに手伝っていただき、鯉のぼりや兜など「こどもの日」にちなんだ飾りをしていただきました。レポーターもせっかく南極らしさを演出させるべきと、マイクやカメラを外に出しての生中継を行いました。当日の天候も心配されましたが何とか持ちこたえてくれました。ただしお空のコンディションは2～3日前の21MHzと異なり、あまり良くありませんでした。

待機いただいたJA1RL, 8N3HAM, の子供達と悪いコンディションの中、スピー

カーに耳を付け反復を重ね、コールサインや名前を確認して交信に至りました。JA7RLで待機の子供達とは、今回は残念ながらコンディションも期待したほど上がりず、交信することが出来ませんでした。その他国内で待機していただいた子供達とフィードアウトぎりぎりまで交信を行いました。そのため一般の局との交信時間が無くなり大変申し訳ありませんでした。運用員一同観測業務の合間を利用し運用しますので、楽しみにしてください。4月末現在1100局程QSO出来ております。10,14,18,21MHz オンエア中です。

なお毎月「8J1RL Log Book」をJARL HPに掲示しておりますのでご確認ください。

(第48次日本南極地域観測隊 若生公郎 JH7QLR 2007/05/8)